



平成 19年 3月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18年 7月 20日

上場会社名 株式会社 オービック

(コード番号 4684 東証第1部)

(URL <http://www.obic.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役会長兼社長 野田 順弘

責任者役職・氏名 常務取締役経営企画室長 加納 博史

(TEL: (03) - 3245 - 6510)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・法人税等の計上基準・法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 19年 3月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 6月 30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期 第1四半期	10,401	(18.2)	2,020	(36.0)	2,991	(34.4)	1,849	(37.7)
18年 3月期 第1四半期	8,801	(0.6)	1,486	(1.7)	2,225	(4.0)	1,343	(3.5)
(参考) 18年 3月期	45,749		12,586		15,220		9,394	

	1株当り四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当り 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年 3月期 第1四半期	190	69	-	-
18年 3月期 第1四半期	138	21	-	-
(参考) 18年 3月期	965	43	-	-

(注) ()内のパーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

18年3月期 第1四半期及び18年3月期における潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、期中平均株価が新株予約権の行使価格より低く、1株当たり四半期(当期)純利益が希薄化しないため、記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報など]

当第1四半期における我が国経済は、アメリカを中心とする世界経済が順調に拡大する中で、内需についても底堅さが増し、景気判断指数においてもバブル期を上回る景気拡大期間となっております。好調な企業業績は継続しており、雇用状況は改善され、設備投資は力強く推移しております。原油価格の高騰などには留意が必要ではありますが、デフレからの脱却も確実視されており、今後も経済全般は好循環の中で拡大が続くものと考えます。

このような中、政府は成長力・競争力強化と財政健全化を車の両輪とする「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」を取りまとめ、日本銀行と一体となって構造改革を加速・深化に取り組んでおります。

当情報サービス業界は、高水準で推移する企業収益のもと、設備投資意欲は活発化しており、経済産業省による特定サービス産業動態統計調査においても売上高が5ヶ月連続の増加となりました。また、日本版SOX法の施行に向けて、企業の統制基盤として重要視されているITの注目度が高まり、業務プロセスの見直しも含めた情報システム再構築のニーズが、大企業から中小企業まで業種を問わず拡大してきております。しかしながら、情報システム投資に関する価格や投資時期に対する慎重な姿勢は継続されており、採算性の確保が業界としての課題となっております。

このような経済状況のもとで、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)は、当第1四半期において、「売上の平準化」の成果があらわれ、前年に比べて売上高ならびに利益が大きく伸長しました。これは、従来の期末集中売上による、採算性・収益性の悪化を回避するための取り組みであります。主力事業においては、統合業務ソフトウェア「OBIC7e xシリーズ」では、引き続き会計情報システムや販売管理システムが中堅・中小企業マーケットを中心に幅広い産業で求められ、一方、業種・業務別のソリューションにおいては、金融機関向けの総融資審査支援システムなどが伸長しております。今後とも不採算の発生防止や収益性の向上に努め、業績の向上に注力してまいります。

この結果、当第1四半期の業績は、連結売上高104億1百万円(前期比18.2%増)、連結営業利益20億20百万円(同36.0%増)、連結経常利益29億91百万円(同34.4%増)、連結当期純利益18億49百万円(同37.7%増)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 3月期 第1四半期	111,617	97,143	87.0	10,005 55
18年 3月期 第1四半期	99,289	86,888	87.5	8,951 53
(参考) 18年 3月期	113,916	97,679	85.7	10,066 44

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年 3月期 第1四半期	1,676	379	790	29,878
18年 3月期 第1四半期	1,966	403	938	35,737
(参考) 18年 3月期	9,293	12,693	1,532	29,372

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報など]

当連結会計年度第1四半期末における現金及び現金同等物は、298億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ、5億5百万円増加いたしました。各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動の結果増加した資金は、16億76百万円であります。これは主に、税金等調整前当期純利益29億91百万円が計上された一方で、売掛金の回収を促進したことによる売上債権の減少20億43百万円が計上されたことや仕入債務の減少7億12百万円及び法人税等の支払い13億42百万円が発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動の結果減少した資金は、3億79百万円であります。これは主に投資有価証券の売買による支出3億76百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動の結果減少した資金は7億90百万円であります。これは配当金の支払い18億72百万円によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

3. 19年 3月期の連結業績予想 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	22,700	7,600	4,700
通期	48,200	16,400	10,100

[業績予想に関する定性的情報など]

当社の業績は過去、第2・第4四半期に集中する傾向がありました。当期においては売上の平準化に努めておりますが、受注残の状況から業績は概ね計画通りに推移しており、当期の業績予想に修正はありません。

以 上

(添付資料)

(1) (要約) 第1四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 第1四半期 (平成18年6月30日現在)		前連結会計年度 第1四半期 (平成17年6月30日現在)		増減 金額	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
		%		%			%
(資産の部)							
流動資産							
1 現金及び預金	34,078		35,737		1,658	33,572	
2 受取手形及び売掛金	6,018		4,909		1,109	8,062	
3 たな卸資産	688		773		84	658	
4 その他	1,575		1,309		266	1,317	
流動資産合計	42,361	38.0	42,729	43.0	367	43,610	38.3
固定資産							
1 有形固定資産	28,000		28,392		392	28,090	
2 無形固定資産	108		136		27	115	
3 投資その他の資産	41,146		28,030		13,116	42,100	
固定資産合計	69,255	62.0	56,559	57.0	12,696	70,306	61.7
資産合計	111,617	100.0	99,289	100.0	12,328	113,916	100.0
(負債の部)							
流動負債							
1 支払手形及び買掛金	4,147		3,353		794	4,859	
2 未払法人税等	1,405		943		461	3,534	
3 その他	5,017		4,514		503	3,774	
流動負債合計	10,570	9.5	8,811	8.9	1,758	12,168	10.7
固定負債							
1 退職給付引当金	3,267		3,001		265	3,104	
2 役員退職慰労引当金	603		556		46	593	
3 その他	32		30		2	370	
固定負債合計	3,903	3.5	3,589	3.6	314	4,068	3.6
負債合計	14,473	13.0	12,400	12.5	2,072	16,236	14.3
(純資産の部)							
株主資本							
1 資本金	19,178	17.2	19,178	19.3	-	19,178	16.8
2 資本剰余金	19,530	17.5	19,416	19.6	114	19,518	17.1
3 利益剰余金	61,348	55.0	53,043	53.4	8,304	60,415	53.0
4 自己株式	5,166	4.7	5,416	5.5	249	5,370	4.7
株主資本合計	94,889	85.0	86,221	86.8	8,668	93,742	82.2
評価・換算差額等							
1 その他有価証券評価差額金	3,436	3.1	1,849	1.9	1,587	5,119	4.5
2 土地再評価差額金	1,182	1.1	1,182	1.2	-	1,182	1.0
評価・換算差額等合計	2,253	2.0	666	0.7	1,587	3,937	3.5
純資産合計	97,143	87.0	86,888	87.5	10,255	97,679	85.7
負債・純資産合計	111,617	100.0	99,289	100.0	12,328	113,916	100.0

(2) (要約) 第 1 四半期連結損益計算書

(単位 : 百万円)

期 別 科 目	当連結会計年度 第 1 四半期 〔自平成18年 4月 1日〕 〔至平成18年 6月30日〕		前連結会計年度 第 1 四半期 〔自平成17年 4月 1日〕 〔至平成17年 6月30日〕		前年同期比	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
売上高	10,401	100.0	8,801	100.0	1,600	118.2
売上原価	5,788	55.6	5,010	56.9	777	115.5
売上総利益	4,613	44.4	3,791	43.1	822	121.7
販売費及び一般管理費	2,592	25.0	2,304	26.2	288	112.5
営業利益	2,020	19.4	1,486	16.9	534	136.0
営業外収益	971	9.4	744	8.5	226	130.4
営業外費用	0	0.0	5	0.1	5	3.5
経常利益	2,991	28.8	2,225	25.3	766	134.4
特別利益	-	-	0	0.0	0	-
特別損失	0	0.0	1	0.0	0	13.4
税金等調整前当期純利益	2,991	28.8	2,224	25.3	767	134.5
法人税、住民税及び事業税	1,141	11.0	880	10.0	261	129.6
当期純利益	1,849	17.8	1,343	15.3	506	137.7

(3) (要約) 第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当連結会計年度 第1四半期 〔自平成18年4月1日〕 〔至平成18年6月30日〕	前連結会計年度 第1四半期 〔自平成17年4月1日〕 〔至平成17年6月30日〕	前年同期比
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益		2,991	2,224	767
減価償却費		112	132	19
売上債権の減少額		2,043	3,234	1,191
たな卸資産の増加額		30	72	42
仕入債務の減少額		712	1,532	820
法人税等の支払額		3,242	2,522	719
その他		512	504	8
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,676	1,966	290
投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の取得による支出		1,073	1,121	48
投資有価証券の売却による収入		696	1,629	932
有形固定資産の取得による支出		3	64	60
無形固定資産の取得による支出		2	0	2
その他		3	39	43
投資活動によるキャッシュ・フロー		379	403	783
財務活動によるキャッシュ・フロー				
配当金の支払額		872	583	289
自己株式の取得による支出		0	354	354
自己株式の売却による収入		82	-	82
財務活動によるキャッシュ・フロー		790	938	148
現金及び現金同等物の増減額		505	1,431	925
現金及び現金同等物の期首残高		29,372	34,305	4,932
現金及び現金同等物の期末(6月末)残高		29,878	35,737	5,858

(4) (要約) 第1四半期連結販売及び受注の状況

販売実績

(単位：百万円)

期 別 品 目	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
システムインテグレーション事業	6,235	60.0	4,789	54.4	1,446
システムサポート事業	2,613	25.1	2,514	28.6	99
オフィスオートメーション事業	1,552	14.9	1,498	17.0	54
合 計	10,401	100.0	8,801	100.0	1,600

受注実績及び受注残高

(単位：百万円)

期 別 品 目	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)		増 減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
システムインテグレーション事業	7,199	14,241	7,910	16,242	710	2,000
システムサポート事業	3,959	13,609	3,380	11,469	579	2,139
オフィスオートメーション事業	1,530	659	1,541	580	11	78
合 計	12,690	28,509	12,832	28,292	142	217